3. 環境清掃費

・バイクシェアリングの仕組みづくりについて

＜要旨＞

港区の特性を活かし、環境に配慮した「バイクシェアリング」の仕組みを導入するべき。

＜本文＞

　交通手段として環境にやさしい自転車の利用を促進し、違法駐輪を減らすことにもつながるバイクシェアリングという仕組みの導入の可能性についてお伺いします。

　自転車共有の仕組み＝バイクシェアリングは、レンタルサイクルとは違い、貸出拠点と返却拠点が別々でも返却可能であり、駐輪拠点ごとに乗り捨てていくシステムです。これまでも国内のいくつかの都市で試みられています。名古屋市が実施した「名チャリ」では2009年からの1年間で、3万人以上の登録者を記録しました。また、環境省の都市型コミュニティサイクル社会実験のモデル都市となった札幌市と東京丸の内の周辺地域でも、NTTドコモとの連携などによりお財布ケータイを利用したシステムを採用し、短期間ながら成果を上げています。国内ではまだ実験段階の箇所も多いですが、パリでは約2万台、1700カ所の拠点を誇るなど、世界的にみれば成功事例は多くあり、欧州の観光主要都市では主流になりつつあります。観光地や地方では主に来街者向け、都心部では地域の人や在勤者向けに展開しています。ニューヨーク市では、来年の夏より１万台、約600拠点を導入する計画が始まりました。

　これを港区で社会実験的に始めるのはいかがでしょうか。東京の中心であり、昼間人口が多い、観光客が多い、街同士が近接しているという特性は、どれをとってもバイクシェアリングが有効であると感じます。違法駐輪が今、問題になっていますが、駐輪場の確保と並行してこのような取り組みを始めれば、将来的には自転車の絶対数を減らす事が出来ます。事業者へ委託するなどして屋外広告の掲載権で収益化することができれは、事業としての成立も可能です。日本の中心から新しい自転車の利用を提案し、定着させることで、エコな意識を持つ人々にも訴求することができれば大変有意義だと考えられます。自動車や違法駐輪を減らし、将来的に自転車専用レーンなども整備していけば、人と自転車が共存できる街になります。このような取り組みに対しての考えをお聞かせください。